

つがるネブタ 夏の夜を彩る



ネブタ大賞
范中ねぶた愛好会

范中ねぶた愛好会



最優秀製作賞 千代町町内会



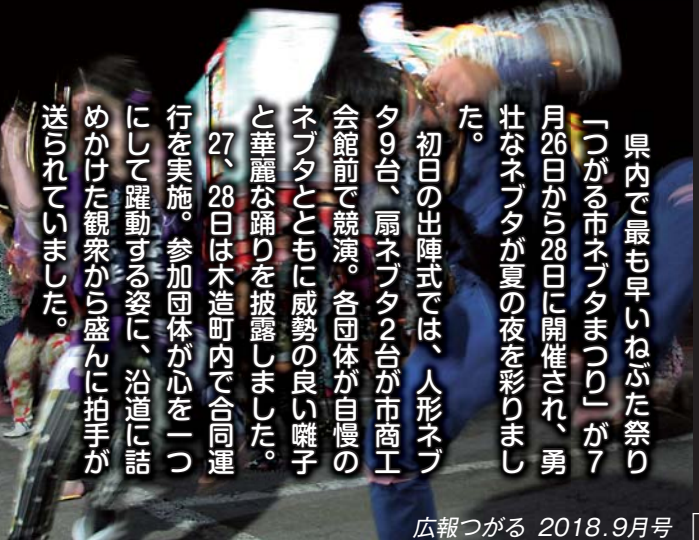
優秀製作賞 田町町内会



囃子大賞
上町倭武多会



踊り大賞
木作町内会



県内で最も早いねぶた祭り「つがる市ネブたまつり」が7月26日から28日に開催され、勇壮なネブタが夏の夜を彩りました。

初日の出陣式では、人形ネブタ9台、扇ネブタ2台が市商工会館前で競演。各団体が自慢のネブタとともに威勢の良い囃子と華麗な踊りを披露しました。

27、28日は木造町内で合同連行を実施。参加団体が心を一つにして躍動する姿に、沿道に詰めかけた観衆から盛んに拍手が送られていました。



平成30年度テーマ 「平成最後の成人式～新時代の幕開け～」 棟方好華さん作

新成人の抱負

岡本 佳華 さん

木造中バスケット部だった仲間と会えるのを楽しみに来ました。

現在は、県立保健大で看護師・助産師を目指して勉強中です。将来は、この地域の医療に貢献したいと思っています。



松橋 恵輔 さん

高校入学からあっという間でしたが、大人としての自覚を持って成人式を迎えました。親にはありがと伝えたいです。現在は、県営農大の学生で、農業高校の指導者を目指しています。



8月15日、平成30年度つがる市成人式が松の館で開催され、対象者347人のうち269人が出席し、大人としての第一歩を踏み出しました。

式典では、福島市長が「ふるさとへの愛着を心に持ち、いろんな形でつがる市のために貢献してくれることを願っています」と式辞。新成人を代表して川村惇平さんが「つがる市に生まれたことを誇りに、力いっぱい成長していきます」と決意を述べました。式典終了後、記念撮影や抽選会も行われ、新成人は旧友との再会を楽しんでいました。

未来を担う決意を胸に つがる市成人式



仲間との再会を喜び、記念撮影する新成人



新成人代表の川村さん